

取扱説明および保証

FLOW

流動的な時間

HYT は、ある疑問から誕生しました。時間はたえず流れ、物事に関わった時にだけ意味を持ちます。細く鋭い針や束の間のデジタル表示で現在の時刻を示していますが、時間の測定は、このような孤立した方法に限定するべきではありません。

この反発を表明して波紋を投げようと心に決め、幅広い分野の専門家を集めた頭脳集団は、過去と現在と未来のつながりが目に見えるような時計の製作に取り掛かりました。

HYT が出した答えは、重力を克服して時間の流れを流体で表示する腕時計です。きわめて先進的な技術は、時間の本来の流動性を映すために、哲学から手掛かりを得ました。

Grégory Doude
CEO



保証

本書には、ウォッチの使い方とメンテナンスについての基本的な説明を記載しています。

HYT ウォッチには、ひとつひとつに本物であることと、その製造についてのすべての作業が時計職人によって監督されたことを保証する固有の識別番号が付いています。

どの HYT ウォッチにも流体モジュール¹が備わっています。この装置は、メニスカス²を用いて時刻を表示できるようにします。メニスカスは、キャピラリー³内の混じり合わない 2 つの液体の間の境界を示します。地板に固定されたベローズ⁴を通じて、時計のムーブメントがこのモジュールを駆動します。この流体システムは、HYT による認定を受けたプロの時計職人だけが交換することができ、固有のシリアルナンバーが付いています。

ご購入時に付属しているカードは、お買い上げいただいた HYT ウォッチの電子保証書です。

カードの表にある QR コードにより、時計の取扱説明にアクセスできます。また、保証を有効にすることができます。保証を受けるためには、有効化された保証カードを提示いただく必要があります。

HYT ウォッチは、HYT 認定販売店で購入された場合、購入日から 5 年間、あらゆる製造上の欠陥に対する保証が付属します。ただし、時計の不適切な取り扱いや不正使用によって生じた損傷については、保証の対象外となります。

どのようなサービス、修理、メンテナンスを受けられる場合も、必ず HYT 認定販売店または当社カスタマーサービスをご利用ください。

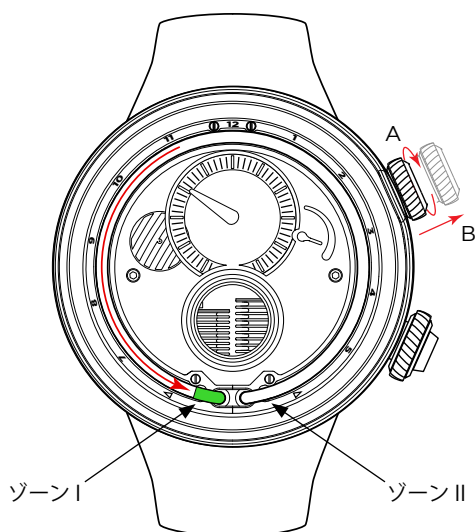
当社の認定販売店ネットワークのリストについては、ウェブサイト www.hytwatches.com をご覧ください。

HYT が認可していない第三者によって修理またはメンテナンス作業が実施された場合は、保証は自動的に無効となります。発生した損傷についての修理は有償となります。

使用上のご注意

お買い上げいただいた HYT ウォッチは、すぐに着用できるように調整済みです。

時刻は 2 つの液体によって表示されます。1 つは色つきで、もう 1 つは透明です。1 つは過ぎた時間を示し、もう 1 つの液体はまだ来ていない時間を示します。キャピラリー³ 内でこの 2 つが出会う地点が表面張力の働く面、すなわち現在です。



重要:しばらく時計を着用しないことがわかっている場合は、色のついた液体を専用のリザーバー (左のベローズ⁴) に収めておく必要があります。

これを行うには、リューズを位置 B (時刻合わせ) に引き出します。液体が元の位置に逆流し始めるまで色のついた液体を「ゾーン II」へ移動させます。巻き上げフェーズが終わったら (色のついた液体は「ゾーン I」に移動)、リューズが時刻合わせ位置 B のままであることを確認します。これで時計を長期間止めておく準備ができたことになります。

この時点で、キャピラリー³ は透明な液体で満たされるようになります (色のついた液体が「ゾーン I」に見られることもあります)。

HYT ウォッチは、厳格な基準のもとで製造・試験された構成部品の組み合わせにより、比類ない防水性を備えています。この優れた防水性を維持するために、認定販売店でサービスを受ける際にガスケットの交換を依頼することをお勧めします。年数の経過とともに、温度変化、湿度、汗、衝撃の繰り返しによって、防水性が低下する可能性があるからです。

HYT ウォッチは、防水仕様のケースを採用しているため、完全に水洗いが可能です。定期的に、ぬるい石鹸水で洗ってすすぎ、柔らかい布で丁寧に水分を拭き取ってください。海水浴で使用した後は、HYT ウォッチを真水ですすいでください。



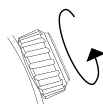
用語解説

p.6



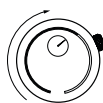
クイックガイド

p.7



巻き上げ

p.8



時刻合わせ

p.9



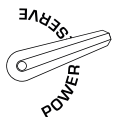
反時計回りでの時刻合わせ

p.10



表示例

p.11



パワーリザーブ表示

p.11



**ライトシステム作動用プッシュボタン
リユーズ**

p.12

用語解説

1. 流体モジュール:

流体を用いた、しかも小型で着用可能な時刻表示を実現するために、HYT は 1 本のキャピラリーチューブの両端に 2 つのフレキシブルなベローズを設置するという、まったく新しいハイテクコンセプトを開発しました。システムは、航空宇宙産業で用いられる最も厳しい基準に従って密閉されており、各ベローズには混じり合わない液体が入っています。専用特許取得済みの流体モジュールは、このシステム全体を象徴しています。

2. メニスカス:

2 つの液体は、固有の反発性によって分離されています。メニスカスは、チューブ内の液体を分離する面を示し、これによって時刻を表示します。

3. ベローズ:

ベローズは、6 時位置に配置された 2 つのリザーバーです。非常に耐久性と柔軟性の高い合金製で、人間の毛髪の 1/4 の厚さです。ムーブメントが左のベローズを圧縮すると、そこから色のついた液体がなくなります。もう一方のベローズには液体が満たされます。またお互いは逆の状態にもなります。それにより液体がキャピラリーへ送られ、メニスカスが時刻を表示します。

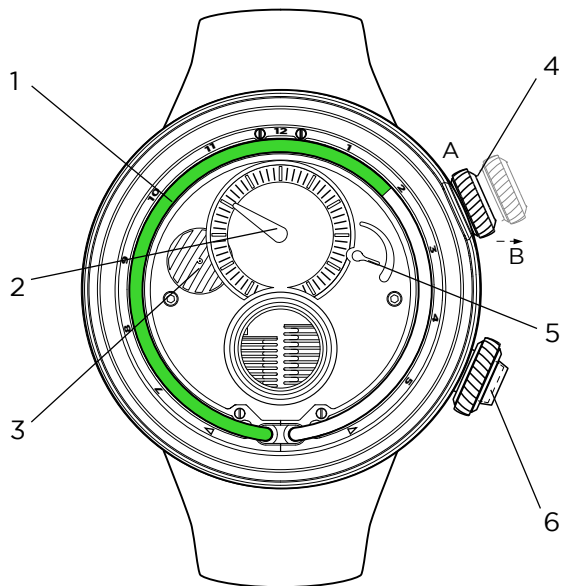
4. キャピラリー:

医療産業で使用される最高品質のガラスでできたこのチューブは、円形をしており、混じり合わない 2 つの液体が入っています。キャピラリーの内側には表面処理が施され、それによって 2 つの液体はガラスに粘りつくことなく滑らかに移動することができます。

5. 元の位置に逆流:

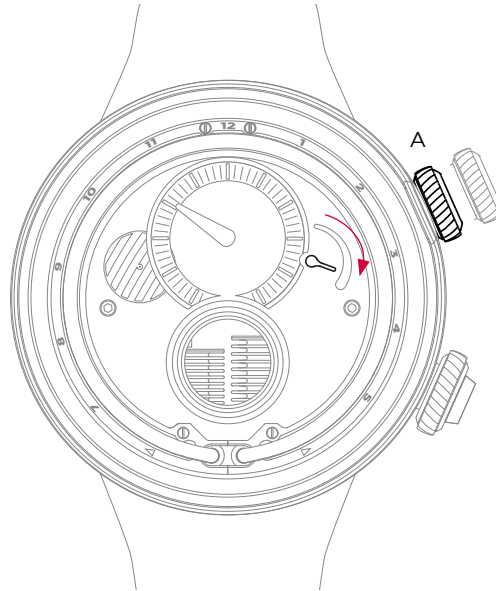
色のついた液体が 6 時位置 (ゾーン II) に達すると、自動的に元の位置 (ゾーン I) へと逆流します。

クイックガイド



1. 時刻表示 (時)
2. 分針
3. 秒表示
4. リューズの調整
位置 A: 巻き上げ
位置 B: 時刻合わせ (引き出した状態)
5. パワーリザーブ表示
(65 小时)
6. ライト システム
a.: リューズを巻き上げてライト システムのチャージ
b.: プッシュボタンを押してライト システムの作動

巻き上げ 位置 A



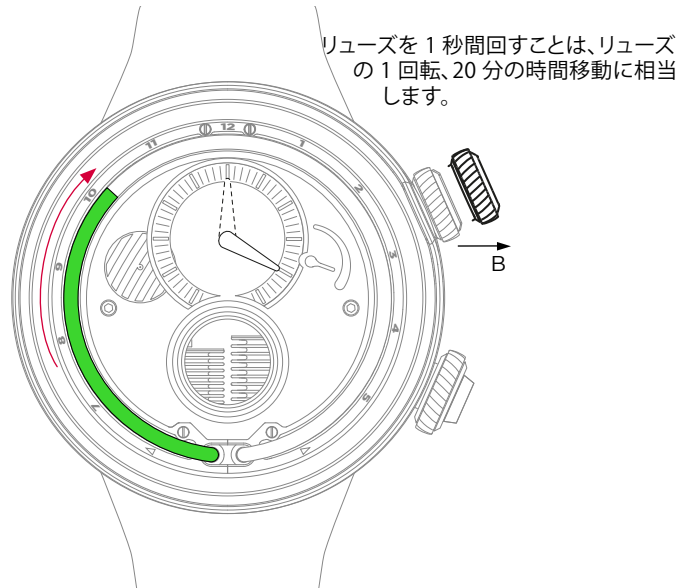
はじめに

この機能により、時計を正常に作動させるのに必要な動力をムーブメントに蓄えることができます。

使用方法

- リューズを時計回りに回して時計を巻き上げます (A)。

時刻合わせ 位置 B



はじめに

この機能により、リューズを使って時計の時刻を調整することができます。

重要

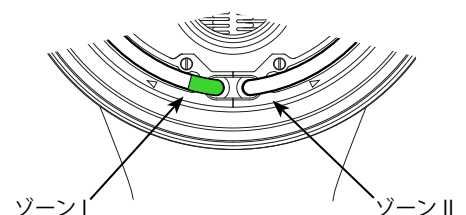
- リューズを滑らかに回すことでキャピラリー内のマイクロ流体を移動させます。
- 1回のリューズ操作で20分ごとに液体を移動させることをお勧めします。
- つまり、液体を1時間分移動させるには1秒の操作を3回行う必要があります。

使用方法

- リューズを位置「B」に引き出します。
- ついで、リューズをどちらかの方向に回します。色のついた液体（時を表示）と分針が希望する時刻になるまで回します。

元の位置に逆流

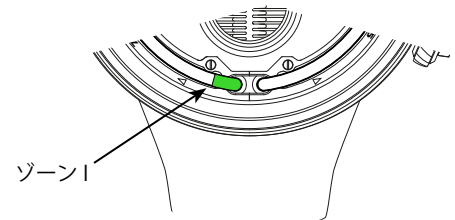
- 色のついた液体の自動的な逆流（元の位置に⁵）は、2つのベローズ⁴の圧力によって実現しています。速度は、逆流が「ゾーンII」でスタートするときに速くなり、液体が「ゾーンI」の開始地点に近づくときに最も遅くなります。



反時計回りで時刻合わせ

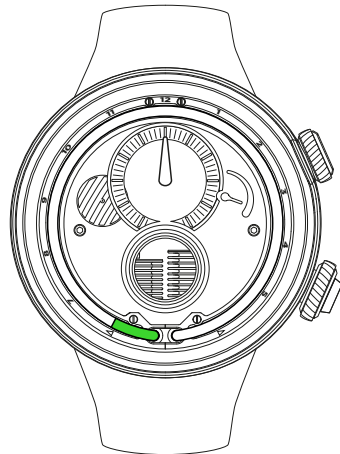
反時計回りに時刻合わせをすることも可能です。

ご注意:色のついた液体が「ゾーン I」に達したら、リューズを反時計回りに動かすことをやめなくてはなりません。

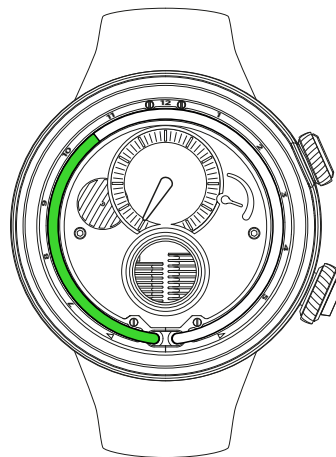


時刻の表示例

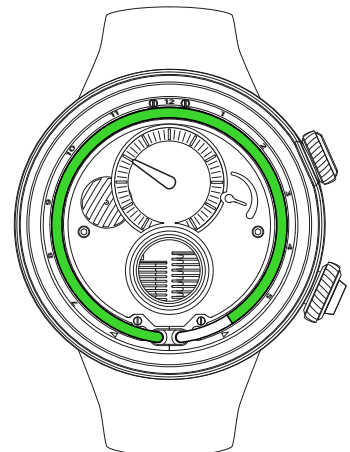
1) 6:00



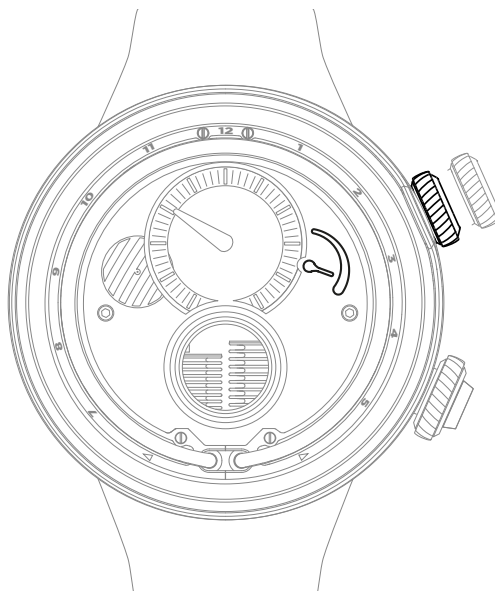
2) 10:35



3) 5:50



パワーリザーブ表示



残量なし



残量最大

(パワーリザーブ
65時間)

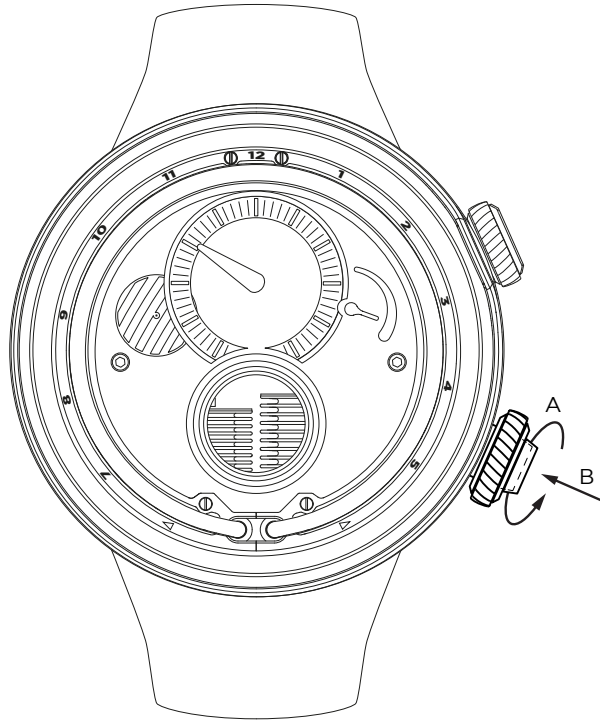
はじめに

扇形のダイヤルの上を、「残量最大」マーク(厚い)から「残量なし」マーク(薄い)まで移動する小さな針によって表示されます。

使用方法

- 時計を最適に機能させるためには、十分に巻き上げられているか確認することをお勧めします(「巻き上げ」を参照)。

ライトシステム作動用 プッシュボタン リューズ



はじめに

この機能により、時計のライトシステムを作動させることができます。

使用方法

- リューズを時計回りに回してプッシュボタンを巻き上げます (A)。
- リューズのプッシュボタンを押し、機械的動力をライトに移し替えることにより、ライトシステムを作動させます (B)。

ジェネレーターが完全に巻き上げられている場合は、プッシュボタンを押すことにより、何度でもライトシステムを作動させることができます。ライトシステムはジェネレーターが消耗するまで、プッシュボタンを押し続けければ継続的に作動させることができます。